

日本プレイセラピー協会主催



治癒的遊びのワークショップ



プレイセラピーの理論や技法に基づき、遊びを通して子どもに治癒的に関わる方法を学ぶワークショップです。治癒的な遊びはプレイセラピーとは違い、何かに困っている子どもにも、そうでない子どもにも用いることができ、また子どものことを大切に思う大人であれば、どなたでも行うことができます。

治癒的な遊びは、特に何かを目的としていなくても用いるのはもちろん、次のような目的にも用いることができます。怖い体験や混乱する体験をした子どもに安定をもたらすため、不安や怒りを感じている子どもを落ち着かせるため、子どもと大人の関係性を強いものにするため、また発達年齢に適した成長を促すためです。中でも、トラウマを体験した子どもへの短期・中期的なサポートにおいては、最も役立つ介入でもあります。ただし、治癒的な遊びはプレイセラピーとは異なりますので、専門的な治療ではありません。家庭や学校や保育園・幼稚園、入院等、子どもたちの生活場面で子どもをサポートするために使うものです。

子どもと接する機会がある大人であれば、治癒的な遊びを用いることで、子どもの成長をより良い方向にむかうようサポートすることができます。講義だけでなく、治癒的な遊びを体験するワークショップですので、理解しやすく、実践的で、楽しいものとなることと思います。

みなさまのご参加を心よりお待ちしております。



日時：2015年12月13日（日） 10：00～17：00（途中、1時間の昼休みあり）

会場：東京都 南青山の会場を予定（表参道駅より徒歩10分程度）

対象：心理、医療、看護、保育、教育などの領域で働いていらっしゃる方で、子どもの心のケアに関心がある方。

プレイセラピーの知識や実践経験の有無は問いません。

定員：30名 *最少開催人数20名（人数に満たず中止の場合、振り込まれた参加費は全額返金いたします）

応募締め切り：2015年11月25日（水） *定員になり次第、締め切らせていただきます。お早目のご応募をお勧めします。

参加費：10,000円

*** プログラム内容 ***

- セルフケア
- 愛着
- 脳
- 発達
- 遊び
- 治癒的な遊び
- おもちゃ

注）「プレイセラピー」の研修ではありませんので、プログラム内容には含まれておりません。

《 お申し込み・お問い合わせ 》

- * 必要事項をご記入の上、メール (japt@ja4pt.org) で日本プレイセラピー協会まで、お申し込みください。
- * お問い合わせもこちらのメールでお願いいたします。
- * 11月10日以降は、日本プレイセラピー協会ホームページ (<http://www.ja4pt.org/>) からの申し込み・お問い合わせが可能となります。

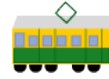
▽ 必要記入事項 (13項目) ▽

①お申込みされる研修会名・②お名前・③ふりがな・④性別・⑤連絡先住所・⑥電話(緊急時用)・⑦メールアドレス・⑧所属・⑨職種・⑩勤務年数・⑪卒業(所属)の学校や専攻名・⑫臨床心理士資格の有無(あれば臨床心理士番号)・⑬当研修会をお知りになったきっかけについて

- * お申し込みをいただきましたら参加費振込み口座をお知らせしますので、お振込みをお願いします。お振込みをもって正式受付となります。確認後に正式受理通知をメールいたします。
- * ご入力のメールアドレスにお間違いがあると、こちらからのご連絡ができなくなりますので、ご注意ください。
- * 振込口座のお知らせや正式受理通知などがしばらくお待ちいただいても届かない場合には、通信障害等の可能性がございますので、お手数ですが再度メールにてお問い合わせくださいますよう、よろしくお願いたします。
- * お振込み後は、お申し込者様のご都合によるキャンセル・返金はいたしかねます。ご了承ください。

締め切り：2015年11月25日(水)

- * 先着順にて受付。定員になり次第、締切日前でも締め切らせていただきますので、予めご了承ください。



《 講師紹介 》

大野木嗣子先生 (Psy.D.)

カリフォルニア・スクール・オブ・プロフェッショナル・サイコロジー (サンディエゴ) 臨床心理学博士号取得。現在東京都港区で開業、国際基督教大学にてプレイセラピーの客員講師。日本プレイセラピー協会共同創設者・理事、International Mental Health Professionals Japan(IMHPJ)元理事、Nana's Children Mental Health Foundation 顧問、California School of Professional Psychology,日本校の修士論文教員、西町インターナショナルスクールスクールカウンセラーなどを務める。子ども、家族、プレイセラピー、子育て支援や多文化的問題を専門とし、ワークショップやセミナーも多数開催している。平成16年のスマトラ沖地震によるスリランカの津波の災害時にOperation USA と米国プレイセラピー協会の支援の下で直接心理的な援助を行う。平成23年の東日本大震災では、日本プレイセラピー協会が日本ユニセフ協会と協同で災害支援を行っている。幼少期および成人してからも日本とアメリカ両方で過ごしたために、完全なるバイリンガル、バイカルチュラルである。

主催：日本プレイセラピー協会 <http://www.ja4pt.org>

共催：ドクター大野木サイコセラピー・カウンセリングオフィス

